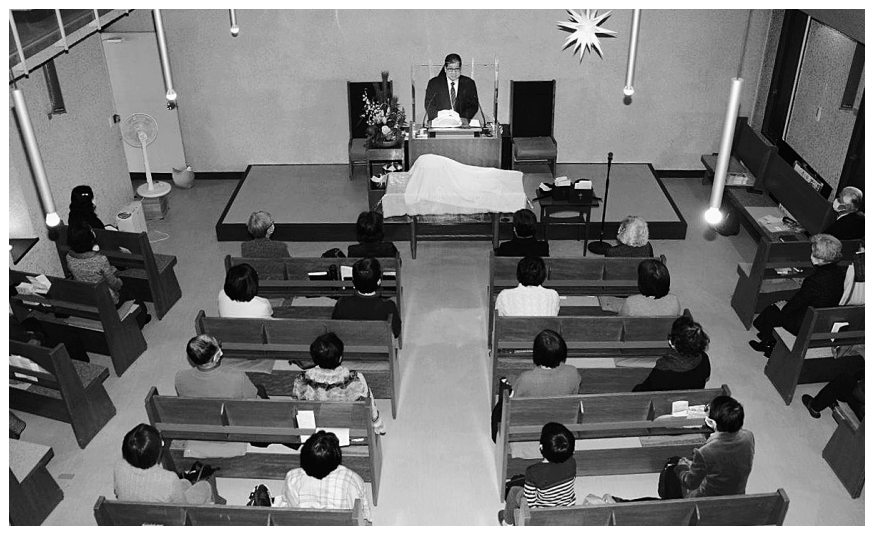


教団新報

定価 1部150円(本体137円+共214円)
予約購読料 1年分 千共 5,350円
紙代のみ 3,750円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL <http://uccj.org>
発行人 秋山 徹
編集主筆 嶋田 恵悟
印刷所 株式会社きかんし



越谷教会 (関東教区)

わたしたちの生涯は御怒りに消え去り 人生はため息のように消えうせま
す。人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても
得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは
飛び去ります。御怒りの力を誰が知りえましょうか。あなたを畏れ敬うに
つれて あなたの憤りをも知ることでしょう。生涯の日を正しく数えるよ
うに教えてください。知恵ある心を得ることが出来ますように。
(詩編90・9～12)

春 新 メッセー 「神の時」に生かされる

詩編90編9節～12節



石橋 秀雄

「人の時」に生きる者の虚しさ

新型コロナウイルスの
感染拡大が深刻化し不安
と恐れが膨らむ中で新し
い年を迎えた。新年の挨
拶も力が入らない。
越谷教会の新年最初の
礼拝後、礼拝堂の真ん中
の通路を挟んで向き合い
新年の挨拶をするのが恒
例となっている。今年は
「主にあつて新年おめで
とうございます」と特に

新型コロナウイルスの
力を込めて挨拶をした。
「主の時」、「神の時」の
支配の中にある一年の歩
みが始まるのだ。
新型コロナ感染の不安
と恐れを吹き飛ばす希望
が「神の時」に生きる者
に示される。

「人の時」から「神の時」へ

詩編90編は葬儀の時に
よく読まれる。昨年の9
月、越谷教会のある信徒
が79歳で召された。葬儀

の聖書の御言葉として
「詩編90編9～10節」を
との希望が出された。
彼の前半生は輝ける人
生の歩みに見えた。

十字架と復活によって

彼は自分に正直だ。心
の中の葛藤を隠さない。
1995年のことだ。土
曜日、自宅で説教の準備
をしていたら、「おい牧
師はいるかと、彼が酔っ
払って家上がりこんで
きた。「牧師、ビールを
飲ませろ」、他のところ
で飲んできて、その勢い
で私のところに来た。
居間に上げてビールを
出した。「おい牧師、一
緒に飲もう」と一緒に飲
むのが当然という態度
だ。彼は「おい牧師、俺
は医者では、3年前

にくたばっていったんだ。
それが、まだ生きている
ぞ。俺は牧師の説教で生
きている。明日シッカリ
説教しろよ」とハッパを
かけられた。
彼はガンが転移してい
く痛みと命の不安を隠さ
ない。程よいところで彼
の家に電話した。彼の妻
が大慌てで迎えに来た。
翌日の礼拝は妻に酷く叱
られたらしく、シュンと
していた。

「余命6カ月」と宣告
されて6年目に「6年生
きてるぞ、牧師、俺がく
たばったら頼むぞ」と私
の家に上がり込んで話し
て言った。
その後、東京の事務所
で仕事をするのが難しく
なり、自宅に司法書士事
務所を開設した。がんが
転移して壮絶なガンの痛
みと闘いながら、借金で
人生を破綻した人の弱さ
に寄り添う仕事を最後まで
でなし続けた。

「余命6カ月」が25年
「神の時」に生かされた。
歩ける時は聖書研究・祈
禱会に夫婦でやつてき
て、会が盛り上がった。

彼は「分らないこと
は分らない。信じられ
ないことは信じられな
い」と率直に発言する。
そしてみんなで話し合
う。最後には「分かった
と言って顔を輝かして帰
る姿に励まされた。
「生まれたばかりの乳
飲み子のように、混じり
けのない霊の乳を慕い
求めなさい」(一ペトロ
2・2)。この御言葉は、
彼が召された次の日曜日
に与えられていた御言葉
だった。

ガンが転移していくに
したがって信仰が純化し
ていった。「混じりけの
ない霊の乳を慕い求めな
さい」との御言葉のごと
く「混じりけのない霊の
乳」をいただき、復活の
命の世界につながる希望
に生かされた。
「彼の時は余命6カ
月」「人の時は6カ月」、
この「人の時」から「神
の時」に生かされて25年
生かされた。まさに奇跡
だ。25年間生きたことが
奇跡ではない、「神の時」
に生かされたこと」が奇
跡だ。死の直前まで、人
生が破綻した人の痛みに
寄り添い、「知恵ある心」
(12)をもって生き、召
されていった。
主イエスの十字架と復
活によって「人の時」が
打ち破られて、罪が赦さ
れて、神の時に招き入れ
られた。この「神の知恵」
の内にあって、主の憐み
に包まれた時に生かされ
ることが奇跡だ。
身体はやせ衰えて行
く。しかし、平安で包ま
れていた。「お風呂に入
れた時に乳飲み子よろ
うに妻の支えの中で気持ち
よさそうに浮いていた」
と聞かされた。「乳飲み
子のように」、復活の主
に委ねる平安に包まれ
ていた。
新しい年の歩みは、社
会が、私たちの生活が不
安や恐れに包まれる状況
にあって、「神の時」
に生かされる希望に満ち
た歩みだ。
(越谷教会牧師)

彼は山登りを趣味とし
ていて聞いていた。し
かし、彼の学生時代の写
真を見て驚いた。その写
真は絶壁でロープにぶら
下がっている写真だっ
た。学生時代からロック
クライミングの部活に入
り岩にハーケンを打ち付
けて登って行く。強靱な
肉体と精神力がなければ
できない命がけのスポー
ツに思える。
彼は、このロッククラ
イミングのように命をか
けて、その能力と精神力
で絶壁を登るように人生
を切り開いて来た。彼は、
自信あふれる「彼の時」
を生きていた。
新聞記者をしなが
ら、司法試験に挑戦して合
格。妻は越谷教会の長老
で月報「みつばさ」の担
当をしていた。新聞記者
なので、「原稿の校正」
を手伝ってくれたが、キ
リスト教は大嫌いだった。
「自分から嫌いだ。自分
の力で切り開くも
の」と思っていた。
ところが、絶壁に登っ
ていて、突然ロープが切
れて真逆さまに転落す
るような絶望を味わっ
た。1995年、腎がん
に侵され「余命6カ月」
と医師から宣告されたか
らだ。病室で同じ病気の
患者と友達になった。こ
の患者が自分の目の前で
死んでいった。
彼は自分の心の中を隠
さない、率直で純真など
ころがあった。牧師館に
飛んで来て私に言った。
「牧師！死にたくない！
恐ろしい！聖書を教え
ろ！」、強い言葉で訴え
られた。この訴えは、ロー
プが切れて谷底に落ちて
行く絶望の叫びに聞こえ
た。
「自分がこんなにだ
らない人間だとは思わ
なかった」と自分の弱さに
打ちのめされていた。彼
を救ったのは、妻の祈
りと心が落ち着いた。毎
朝、彼の妻は聖書を読み、
祈って夫を会社に送り出
した。彼の口から「感謝」
という言葉が出た。「生
きているのではなくて生
かされている自分」に気
づいたからだ。
彼は洗礼を受け、「神
の時」に生きる者として
導かれた。彼は会社を辞
めた。司法書士事務所を
東京に開設した。この時、
第4腰椎にがんが転移し
た。このガンが転移する
痛みの中で事務所を開設
した。
自分の弱さを思い知っ
た彼は、借金まみれにな
り人生に破綻した人々に
寄り添う仕事を始めた。
名古屋に住む借金まみれ
で行き詰まった人から電
話の相談を受け、車で名
古屋に行き、その人の生
きる道を切り開き、越谷
に帰ってきた話を聞い
た。
お知らせ
「教団新報」今号を
4942・43合併号
とし、次号は2月27日
に発行します。
総幹事 秋山 徹

「彼の時は余命6カ
月」「人の時は6カ月」、
この「人の時」から「神
の時」に生かされて25年
生かされた。まさに奇跡
だ。25年間生きたことが
奇跡ではない、「神の時」
に生かされたこと」が奇
跡だ。死の直前まで、人
生が破綻した人の痛みに
寄り添い、「知恵ある心」
(12)をもって生き、召
されていった。
主イエスの十字架と復
活によって「人の時」が
打ち破られて、罪が赦さ
れて、神の時に招き入れ
られた。この「神の知恵」
の内にあって、主の憐み
に包まれた時に生かされ
ることが奇跡だ。
身体はやせ衰えて行
く。しかし、平安で包ま
れていた。「お風呂に入
れた時に乳飲み子よろ
うに妻の支えの中で気持ち
よさそうに浮いていた」
と聞かされた。「乳飲み
子のように」、復活の主
に委ねる平安に包まれ
ていた。
新しい年の歩みは、社
会が、私たちの生活が不
安や恐れに包まれる状況
にあって、「神の時」
に生かされる希望に満ち
た歩みだ。
(越谷教会牧師)

彼は「分らないこと
は分らない。信じられ
ないことは信じられな
い」と率直に発言する。
そしてみんなで話し合
う。最後には「分かった
と言って顔を輝かして帰
る姿に励まされた。
「生まれたばかりの乳
飲み子のように、混じり
けのない霊の乳を慕い
求めなさい」(一ペトロ
2・2)。この御言葉は、
彼が召された次の日曜日
に与えられていた御言葉
だった。

ガンが転移していくに
したがって信仰が純化し
ていった。「混じりけの
ない霊の乳を慕い求めな
さい」との御言葉のごと
く「混じりけのない霊の
乳」をいただき、復活の
命の世界につながる希望
に生かされた。
「彼の時は余命6カ
月」「人の時は6カ月」、
この「人の時」から「神
の時」に生かされて25年
生かされた。まさに奇跡
だ。25年間生きたことが
奇跡ではない、「神の時」
に生かされたこと」が奇
跡だ。死の直前まで、人
生が破綻した人の痛みに
寄り添い、「知恵ある心」
(12)をもって生き、召
されていった。
主イエスの十字架と復
活によって「人の時」が
打ち破られて、罪が赦さ
れて、神の時に招き入れ
られた。この「神の知恵」
の内にあって、主の憐み
に包まれた時に生かされ
ることが奇跡だ。
身体はやせ衰えて行
く。しかし、平安で包ま
れていた。「お風呂に入
れた時に乳飲み子よろ
うに妻の支えの中で気持ち
よさそうに浮いていた」
と聞かされた。「乳飲み
子のように」、復活の主
に委ねる平安に包まれ
ていた。
新しい年の歩みは、社
会が、私たちの生活が不
安や恐れに包まれる状況
にあって、「神の時」
に生かされる希望に満ち
た歩みだ。
(越谷教会牧師)

彼は「分らないこと
は分らない。信じられ
ないことは信じられな
い」と率直に発言する。
そしてみんなで話し合
う。最後には「分かった
と言って顔を輝かして帰
る姿に励まされた。
「生まれたばかりの乳
飲み子のように、混じり
けのない霊の乳を慕い
求めなさい」(一ペトロ
2・2)。この御言葉は、
彼が召された次の日曜日
に与えられていた御言葉
だった。

ガンが転移していくに
したがって信仰が純化し
ていった。「混じりけの
ない霊の乳を慕い求めな
さい」との御言葉のごと
く「混じりけのない霊の
乳」をいただき、復活の
命の世界につながる希望
に生かされた。
「彼の時は余命6カ
月」「人の時は6カ月」、
この「人の時」から「神
の時」に生かされて25年
生かされた。まさに奇跡
だ。25年間生きたことが
奇跡ではない、「神の時」
に生かされたこと」が奇
跡だ。死の直前まで、人
生が破綻した人の痛みに
寄り添い、「知恵ある心」
(12)をもって生き、召
されていった。
主イエスの十字架と復
活によって「人の時」が
打ち破られて、罪が赦さ
れて、神の時に招き入れ
られた。この「神の知恵」
の内にあって、主の憐み
に包まれた時に生かされ
ることが奇跡だ。
身体はやせ衰えて行
く。しかし、平安で包ま
れていた。「お風呂に入
れた時に乳飲み子よろ
うに妻の支えの中で気持ち
よさそうに浮いていた」
と聞かされた。「乳飲み
子のように」、復活の主
に委ねる平安に包まれ
ていた。
新しい年の歩みは、社
会が、私たちの生活が不
安や恐れに包まれる状況
にあって、「神の時」
に生かされる希望に満ち
た歩みだ。
(越谷教会牧師)

新型コロナウイルス 感染拡大渦中で

寄場からの声に聞く

釜ヶ崎《大阪》

「コロナ対策班」を設置して

釜ヶ崎では、2020年12月28日から2021年1月3日にかけて、第51回目になる釜ヶ崎越冬闘争が、第51回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会によって行われました。連日渡って、パトロールや炊き出し、団結もちつき大会（1月2日）等が行われ、泊まる所のない労働者のためには、寝場所が設置されました。今回の越冬闘争は、新型コロナウイルスの感染が続く中で行われるということもあって、新たに「コロナ対策班」が設置され、越

ター開放行動によって、2020年12月29日から2021年1月4日まで、センター前にテントを設置しての寝場所の提供、映画上映会、団結もちつき大会（1月4日）等の越冬闘争が行われました。

ため、強制立ち退きはしばらくの期間は、法的には出来ないことになったわけです。

新型コロナウイルスの感染終息にまだ目途が付かない中で強制立ち退き裁判を起こした大阪府の意図は、何とか「経済

連日の炊き出しを開始

12月29日昼から1月4日朝まで、城北労働福祉センター前の路上を拠点に、2020～21山谷越年闘争が行われた。コロナの感染者は連日増え続けており、ここに集まってくる仲間の中から1人でも感染者が出たら、炊き出し自体をストップせざるを得ないと、いう緊迫した状況下、越年闘争も朝夕の食事提供と衣類・日用品等の配布のみという、極めて限定的なものになった。人々

の密集を避けるため、例年共同作業をしていた食事の準備も、恒例の餅つきも、大晦日の芝居も学習会もなし、大きなデントの中に布団を並べた集団野営も中止して、寝場所のない仲間には各自寝た。

越年期間中は、東京都が近隣のドヤを使って130人分の宿泊（朝夕のコンビニ弁当付き）を用意したこともあり、セクター前に集まる人数はいつもの3分の2くらい

出せ」、「医療・宿泊などの応急援護を行え」などと仲間たちの切迫した要求をつきつけ、一部獲得したのももあった。越年闘争もその延長上で行われた。



センター前越冬闘争のスケシニールが書かれていて
立て看板

設置されました。今回の越冬闘争は、新型コロナウイルスの感染が続く中で行われるということもあって、新たに「コロナ対策班」が設置され、越冬闘争に出会った、新型コロナウイルス感染が疑われる発熱者や体調不良者に出来るだけの対応を取れるようにしました。

一昨年4月24日に閉鎖されたあいりん総合センター（以下、センターと略す）周辺では、常時、30名程の労働者が、ダンボール等で寝泊まりを続けています。このセンター前でも、釜ヶ崎セン

ために、セクター周辺に常時居続けている労働者を強制的に立ち退かせるために裁判を提訴。この裁判とは別に大阪府は、強制立ち退きを早期に確定させる（仮処分命令を裁判所に出させる）ための裁判も起こしていたのですが、こちらの方は、昨年12月1日に大阪府の訴えを裁判所が却下した

を守るということに大阪府は全力を尽くすべきだと思います。「あなたがたは神（「生命を守る」と富（「経済活動の維持」とに仕えることはできない」と言われたイエスを改めて痛感します。

（大谷隆夫報／釜ヶ崎医療連絡会代表・関西労働者伝道委員会教務教師）

袋や1人用テントを渡すというやり方で凌いだ。

政府が「緊急事態宣言」を出した昨年4月以降、最もコロナ感染の危険にさらされながら医療につながる手立てもなく、東京都の「特別就労事業」（公園・道路等の清掃）の延期で現金収入の道を閉ざされた野宿者・日雇い労働者の命を

と少なかったが、越年明け1月6日の炊き出しにはまた100人を超えるようになった。2度目の「緊急事態宣言」が秒読みとなった4日の交渉に、私たちの前に出てきたセンターの責任者は、今後の見通しについても仲間たちの質問にも何ら明確な回答をせず、早々に引き揚げていった。コ

寿
《神奈川》

孤立しない、させない活動

寿地区は人口5785人、65歳以上3244人、高齢化率56%という数字が報告された（横浜市寿福祉プラザ2019年11月1日調査）。現役の日雇い労働者は少ない。このような地域での活動は寿地区高齢者ふれあいサロン・昼食会は中止として、今なお再開のめどはたっていない。

しかし炊き出し（食数平均550食）とパト

ロール（パトロールで出会う野宿者数約100名）はいつも通り行なっている。野宿を強いられている人たちにとってはお出しとパトロールは生命線。せめて週に一回、みんなで「元気だったお互いに声を掛け合う」ことでお互いの安否確認ができる大事な活動である。全国各地からたくさんの方々が炊き出しに必要物資も送ら

新型コロナウイルス感
染の状況の中で仕事を
失った人たち、まさかと
いう予想もなかった状
況。絶望の中に居る。そ
して自殺者も増えてい
る。これから仕事を奪わ
れ、住むところを奪われ
た人たちは路上にどんど

ん増えて行くことが予想される。生活保護の申請も急増している。互いに助け合っていかなければと思う。



ブルーシートで雨養生し、雑炊を食べる

また新型コロナウイルスの感染による差別は、世界中で起こっていると。何故、何がそうさせるのだろうか。このよう

な事態になると人間の本性が現れるといわれる。人が人として絶対やってはいけないことではないか。あまりにも悲しいではないか。それは殺人と同じである。そのためには自己検証をしていかなければならないと思った。そして抗議の声を上げ続けなければならないと思う。

る態度」と。まさしくイエスの指し示す生きかたなのではないだろうか。

（三森 妃佐子 報／神奈川
教区寿地区センター教務
教師）

「日本伝道の
信徒の友」掲
載いがありま
す掲載いたし

る態度」と。まさしくイエスの指し示す生きかたなのではないだろうか。

（三森妃佐子報／神奈川
教区寿地区センター教務
教師）

の炊き出しをセンター前で開始した。一方で、山谷対策を標榜しながら野宿者には何の手だても講じないばかりか、地下の娯楽室を閉鎖するだけのセンターに対し「仕事を争を担った仲間をもっと広げ、越冬から春のたたかに向けて力を結集していきたい。」

(松井悠子報／山谷労働者福祉会館活動委員会・城西教員)

お詫び・訂正

新報4940・41号3面「日本伝道の推進を祈る日」欄、「信徒の友」掲載スケジュール表に間違いがありました。お詫びして、再度掲載いたします。

『信徒の友』掲載スケジュール

掲載号	掲載教区
3月号	北海、奥羽
4月号	東北、関東
5月号	東京（東支区、西南支区）
6月号	東京（南支区、北支区）
7月号	東京（千葉支区）、西東京
8月号	神奈川、東海
9月号	中部、京都
10月号	大阪、兵庫
11月号	東中国、西中国
12月号	四国、九州
1月号	沖縄、まとめ

*掲載を断る教区がある場合は、繰り上げる。

笹島《愛知》

困窮状態の多様化を実感

愛知県名古屋市の年末年始の期間、野宿状態にあって所持金の少ない(3万5000円以下)人に対して無料宿泊所を開設(入所12月21日〜1月4日)しています。今年度はコロナに対応した個室の簡易宿泊所(3食付)が準備されました。今年度の入所は66名で去年の50名を上回りました。

一方私たち民間の支援団体は、名古屋市内の公園にテントを設営、たき火で暖を取り年末年始のこの時期に困窮状態にある人々への支援活動を行いました(12月28日〜1月4日)。コロナ禍の今年は必要最低限の支援活動に絞り、食事の提供・医療・生活相談・支援物資、カンパの受け入れ・夜回り・テント内での宿泊・衣類提供・散髪などです。私はささしま共生会(市の中心部で週2回の炊き出し、野宿者のアパート入居の支援を行う)の一員として越冬活動に参加し、夜の食事提供を担当しました。毎回60名ほどの利用がありました。

12年前リーマンショックで多くの人が住まいを追われ野宿状態になり、炊き出しにおしよせたことを思い出します。年末年始関係なく困窮する人たちがあふれました。今回のコロナ禍の下でも同じようなことが起きるかと思いましたが、2019年の春以降炊き出しや夜回り(夜野宿して寝ている人を尋ね安否確認・支援物資配布を行う)に大きな人数の変化はなく、確かに炊き出しに並ぶ若い方たちが何人かはいませんが、2020年度の炊き出し利用者は前年度に比べ若干の減少となっています。区役所で生活保護申請の支援をしているボランティアの方に聞くと、むしろ居宅(住むところのある状態)で生活保護などの相談に来られる方が多い、また民間の生活保護施設に入所する人も多いとのことでした。私たち野宿者を支援するグループが行う夜回りや炊き出しといった古典的な支援活動では出会うことのできない居宅で困窮状態の人たちに届く支援も必要だと感じています。

鈴木 眞(明石ベテル教会担任教師)
20年12月5日逝去、71歳。宮城県生まれ。84年東京神学大学大学院卒業。88年より高砂、明石

事務局報

大野小康(隠退教師)



20年11月10日逝去、91歳。愛媛県生まれ。55年農村伝道神学校卒業。同年より堺小路(現堺教会)、阿倍野、花輪、石津教会を牧会し、03年隠退。遺族は妻・大野ミヤコさん。

ベテル教会を牧会。遺族は妻・鈴木ゆみ子さん。湯野 昇(隠退教師)



20年12月7日逝去、91歳。鹿児島県生まれ。56年東京神学大学大学院卒業。同年より小野田、竹原教会を牧会し、奥羽教区に務め、仙台愛泉、米

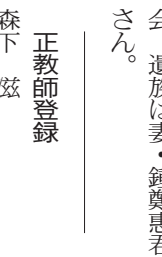
沢明星、天童教会を経て02年隠退。遺族は息・湯野義宏さん。



鍾 昌宏(高田馬場台湾教会主任担任教師)

20年12月24日逝去、75歳。台湾生まれ。87年台湾神学院卒業、01年台湾基督教長老教会より按手。

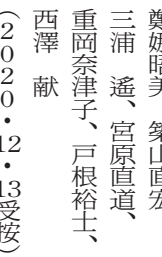
南アフリカの長老教会米国ルイビルの台湾人教会を経て、20年2月より高田馬場台湾教会を牧会。遺族は妻・鍾鄭惠君さん。



正教師登録

森下 滋(2020・11・29受按)
李 振一、野村なるみ、山本孝根(2020・11・30受按)

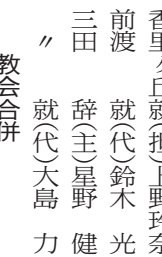
種房惇子、種房正勝(2020・12・1受按)
佐藤嘉哉、関 義朗(2020・12・7受按)
鄭娜晤美、築山直宏、三浦 遙、宮原直道、重岡奈津子、戸根裕士、西澤 献(2020・12・13受按)



補教師登録

飯塚共生(2020・12・13受允)
教師異動
大阪西淀川

辞主 森口あおい
就(代) 森美由紀
大阪昭和(代) 平松洋一
就(主) 森口あおい
香里ヶ丘(担) 上野玲奈
前渡 就(代) 鈴木 光
三田 就(主) 星野 健
就(代) 大島 力



教会合併

宗喰、海南(宗喰存続)
手稲はこぶね、札幌富丘(手稲はこぶね存続)
伝道所廃止
下川口



出しゃ夜回り(夜野宿して寝ている人を尋ね安否確認・支援物資配布を行う)に大きな人数の変化はなく、確かに炊き出しに並ぶ若い方たちが何人かはいませんが、2020年度の炊き出し利用者は前年度に比べ若干の減少となっています。区役所で生活保護申請の支援をしているボランティアの方に聞くと、むしろ居宅(住むところのある状態)で生活保護などの相談に来られる方が多い、また民間の生活保護施設に入所する人も多いとのことでした。私たち野宿者を支援するグループが行う夜回りや炊き出しといった古典的な支援活動では出会うことのできない居宅で困窮状態の人たちに届く支援も必要だと感じています。

12年前リーマンショックで多くの人が住まいを追われ野宿状態になり、炊き出しにおしよせたことを思い出します。年末年始関係なく困窮する人たちがあふれました。今回のコロナ禍の下でも同じようなことが起きるかと思いましたが、2019年の春以降炊き出しや夜回り(夜野宿して寝ている人を尋ね安否確認・支援物資配布を行う)に大きな人数の変化はなく、確かに炊き出しに並ぶ若い方たちが何人かはいませんが、2020年度の炊き出し利用者は前年度に比べ若干の減少となっています。区役所で生活保護申請の支援をしているボランティアの方に聞くと、むしろ居宅(住むところのある状態)で生活保護などの相談に来られる方が多い、また民間の生活保護施設に入所する人も多いとのことでした。私たち野宿者を支援するグループが行う夜回りや炊き出しといった古典的な支援活動では出会うことのできない居宅で困窮状態の人たちに届く支援も必要だと感じています。

鈴木 眞(明石ベテル教会担任教師)
20年12月5日逝去、71歳。宮城県生まれ。84年東京神学大学大学院卒業。88年より高砂、明石

教区議長コラム

◆ 四国教区 ◆

黒田 若雄

教区に何を期待しているのか受けるためであった。

アンケート

トの回答にあった教区への期待は、互助制度の充実や教区全体で伝道を展開する方向性の明示等であった。それは、

神の備える未来に向かって

後の教会がどうなっていると「思うか」という質問があった。教会の率直な声を聞くために入れられた質問であったが、その回答は大変意外なものであった。勿論、厳しくなるという予想は共通であった。し

視していないのではなく、これまで大変厳しい現状を歩む中で、神にのみ支えられて歩むという経験を積み重ねてきている。それが、厳しい見通しでも、前を向いて歩む思いに繋がっている。そして、こ

教団出版局の財政危機と改善に向けて

日本キリスト教団出版局は、営利事業を行う教団の一部局ですが、信徒向けのキリスト教書や牧師や研究者のための神学書、讃美歌、「信徒の友」や「こころの友」などの定期刊行物の出版を通して、キリスト教出版業界の中心的な役割を担い、日本の社会全体にキリストの福音を伝える重要な働きを担っています。この出版局の財政状況が年々厳しさを増してきており、ここ数年間は赤字経営の状態が続いています。

出版局の売上高は2000年には7億1000万円余でしたが2015年には3億4000万円に半減し、2019年には3億1000万円余とさらに減少してこの傾向はとまりません。これに対して製造原価や人件費等は大幅な減少をはかることは容易ではなく、最近6年間の当期純利益は、2015年：-1218万6千円、2016年：-651万6千円、2017年：-2355万3千円、2018年：-3843万1千円、2019年：-1631万8千円と、大幅な赤字財政となっており、売れなければ廃物となってしまう3億円に及ぶ在庫のことを考えると深刻な状況であることは確かで、もはやこれは出版局の経営改善の努力の手に余り、SOSを出さざるを得ない状況になっています。

教団の監査委員会はこの状況について、「出版局からの銀行借入担保の承認要請は出版局の財政状況に対する明確な判断がなければ執行し得ない」とし、「出版局の財政を抜本的に改善する施策の速やかな執行を求めなければならない」との「緊急意見」を石橋秀雄教団総会議長宛に提出しました。出版局の財政赤字が教団本体の財政破綻を招く恐れがあるとの警告が出されたのです。これを深刻に受け止めて常議員会は審議を経て、常任常議員会、責任役員会、出版局理事会からなる「三者協議会」を2020年5月より発足させ、状況と問題の正確な把握と経営改善に向けて鋭意努力が続けられています。「三者協議会」は協議を重

ねた上で、経営コンサルタントの加藤真澄氏(ICU教会員)、吉田直樹氏(聖ヶ丘教会員)を加えた「経営改善検討チーム」をつくり、出版局の経営状況についての抜本的な専門家の診断と分析、改善計画を2020年度末までに提案することとなり、現在急ピッチでその作業が進められ、黒字化をはかるための取り組みが続けられています。

教団出版局は、教団紛争の時期に教区よりの負担金が滞り教団が破綻状況にあったとき、出版局からの累計7億円の繰り出し金によって教団財政を支えた時期もありましたが、近年の出版業界全体の苦境に加え、キリスト教界の信徒数の大幅減少、高齢化、文字離れ、ネット直販などが進む状況から売上減少が続き、教団として出版局を抱えることが重荷になってきているのは否めません。しかし、讃美歌や「信徒の友」などの出版が止まり、これを失うことになれば、どれほどの大きな損失となるか、これを考えれば何とかして存続する道をはからなければなりません。出版事業を時代に即応する形で更に発展させるにあたっても専門性を身につけた出版局職員の保持を欠かすことは出来ません。キリスト教書や雑誌によって信仰を支えられてきた信徒と教会の存在、日本全国にキリスト教の福音を伝え浸透させるための道具として、教団が出版局を持っていることは大いなる資産です。出版局を用いていかに有効な働きを展開するか、まだまだ考えるべき道はあるはずですが、何よりも、各信徒と教会、教団全体がこの出版局状況を理解して、支えて行くとの熱意と支援の輪が広がることに出版局の存続がかかっています。クリスマス前に出された山北宣久出版局理事長の「教団出版局からのSOS」をお読みくださり、「信徒の友」の定期購読や出版書物の購入など7項目のお願いに是非ご協力をお願いいたします。

(秋山徹総幹事)



左＝旧ワールドミッション・トゥ・チルドレン佐世保事務所（佐世保市藤原町）、右＝佐世保東部伝道所礼拝堂。末瀬昌和・喜美子牧師

るに至りました。今から50年近く前、

長し、また日本社会も落ち着いてくるとともに、活動は徐々に縮小され、20年前に全活動を停止するに至りました。

この活動は2001年まで続けられ、約100人に及ぶ子供たちを引き取って養育し、成人前に多くはアメリカの家庭に養子として送り出されました。また佐世保はもとより、周辺の町々、さらに佐賀、唐津、長崎などに伝道を展開し、教会を生み出しました。

ワールドミッションの母体となったアメリカの教会は、いわゆる福音派といわれるプロテスタント教会でした。日本基督教団などのNCC関係の教会とは一線を画し、独自の教会活動を繰り広げ

たのです。やがて、子供たちも成長し、また日本社会も落ち着いてくるとともに、活動は徐々に縮小され、20年前に全活動を停止するに至りました。

今から50年近く前、

長し、また日本社会も落ち着いてくるとともに、活動は徐々に縮小され、20年前に全活動を停止するに至りました。

この活動は2001年まで続けられ、約100人に及ぶ子供たちを引き取って養育し、成人前に多くはアメリカの家庭に養子として送り出されました。また佐世保はもとより、周辺の町々、さらに佐賀、唐津、長崎などに伝道を展開し、教会を生み出しました。

ワールドミッションの母体となったアメリカの教会は、いわゆる福音派といわれるプロテスタント教会でした。日本基督教団などのNCC関係の教会とは一線を画し、独自の教会活動を繰り広げ

たのです。やがて、子供たちも成長し、また日本社会も落ち着いてくるとともに、活動は徐々に縮小され、20年前に全活動を停止するに至りました。

EMS 総会報告

ドイツを中心とした世界宣教団体「連帯福音宣教会」(EMS)の2年ごとの総会が11月12・14日、オンライン会議で行われた。参加者はドイツの各州教会の代表者、アフリカ中近東、東南アジア、極東の代議員、バーゼルミッション(スイス)、ドイツ東部ミッション(DOAM)などで70名程の会議となった。教団からの代議員として秋山が自宅から参加した。会の始めに、セクシャルハラスメント防止のための行動規範が制定され、それに基づいてこの会議のためにオンブス・パーソンが2名決められた。

EMSの会合では期間中、基調講演や聖書の分かち合いの時間が設けられている。今回はルカによる福音書4・18・19を読み、それぞれが受け取ったこと、また参加者がおかれた状況、特にコロナ禍をどう受け止めているかについて分かち合った。

今総会の最大のテーマは、全世界に広がるコロナ禍にEMSはどのような対応し、福音宣教の連帯の働きを保持し継続させるかをめぐってであった。まず、オンライン会議の決議を公式なものとするのが出来るようにする規則改定案を決議した。更に、18・19年度の

(秋山 徹報)

『こどもさんびか改訂版』に関するお知らせとお詫び

日本基督教団出版局のために祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。当出版局が2002年12月に刊行した『こどもさんびか改訂版』が、10版まで版を重ねて、全国の教会、学校や幼稚園・保育園の礼拝で広く用いられていることを感謝申し上げます。

さて、このたび、この歌集に掲載されている「わたしたちのいのり(12) ペットの死」(197頁)について、2001年3月にカンバーランド長老キリスト教会日本中会が発行された『神の民の礼拝 礼拝書試案』に収録されている祈りからの転載ではないかとのご指摘をいただきました。急ぎ内容を確認かめところ、たしかに「わたしたちのいのり(12)」は、『神の民の礼拝 礼拝書試案』からの転載であることを確認しました。ところが、この祈りの言葉について、編集時に転載許可をいただく手続きをとったという記録や書類は見いだすことができず、また、出典も明示していないため、無許可で印刷していたものと判断するに至りました。

日本基督教団出版局も、また日本基督教団讃美歌委員会も、平素から著作権に関するマナーを守ることを広くお願いしている立場にあるにもかかわらず、私どもが適切な手続きを行わなかったことにより、カンバーランド長老キリスト教会日本中会の権利を侵害し続けておりましたことと、この事実をご指摘によって初めて知った不明を、衷心よりお詫び申し上げます。また、この『こどもさんびか改訂版』をご愛用くださっている皆さまにも、このお知らせと共にお詫びいたします。

これまでの無断転載を深く反省し、二度とこのようなことが起こらないよう、著作物の出典と権利状況、手続きについて、細心の注意をもって取り扱う所存です。

なお、「わたしたちのいのり(12)」は、子どもの日常生活に寄り添う祈りの言葉として親しまれてきました。改めてカンバーランド長老キリスト教会日本中会に転載のご許可をお願いし、出典を明示したうえで、引き続き掲載させていただくべく手続きを進めていることをご報告いたします。

2020年12月

日本基督教団出版局局長代行 飯 光
日本基督教団讃美歌委員会委員長 水野 隆一

待降節の礼拝を捧げた次の日から付属幼稚園では「ページェント礼拝」が始まる。練習ではなく「ページェント礼拝」を積み重ねてクリスマスを迎える。最初の「ページェント礼拝」の日、幼稚園を休園せざるを得なかった。保健所から「家庭内感染者が出たのでPCR検査を」との連絡が入り、保護者、園児、保育者30名が検査を受けた。結果は全員陰性で翌日から通常保育、「ページェント礼拝」が始まった。

やりたい役をしながら、クリスマスの一週間前に役を固定する。この役決めが大変、やりた

礼拝の場が心地よい

ている。皆のために「僕がやる」と手を挙げる子が現れる。「クリスマス・ページェント礼拝」が始まった。環境の変化に敏感なAちゃんは「ページェント礼拝」では大きな声で泣いていたが、今日はニコニコしながら宿屋さんになっている。B君は集団行動が苦手だが、ニコニコしながら博士たちを導いた。感動した。保育者は否定語を語らない。馬小屋に、赤ちゃんを中心に全員が集まって「ハレルヤ・アーメン」を歌った。まるで天の軍勢が加わって一緒に賛美をしているようだった。PCR検査の休園という衝撃から始まったが、励まされ感動した。最高の「ページェント礼拝」だった。この礼拝の場が心地よい。

(教団議長 石橋秀雄)